



これからの棚田シンポジウム

昨年10月26日に、第9回全国棚田サミット開催10周年を記念して、実施されました。棚田通信No.19でその概要を紹介しましたが、今回は、今後の課題と目標について考えてみます。

棚田の今後について探る

○坂折棚田保全の始まり

シンポジウムを実施したときの資料に、2000年8月31日付の中日新聞に、坂折棚田の構想が述べられているので紹介しよう。

【この構想は、坂折地区を四つに区分し、現在の棚田を最大限残しながらも、景観を配慮した区画整備を行うという『ゾーニング』を採用した。棚田の保全を求める側と整備を希望する側の意見を一つに調整した画期的な内容で、中島委員長は「全国に先駆けた内容で、十分評価できるもの」としている。】この記事が出されてから13年となり、坂折棚田の保全に対する考え方も、恵那市の宝となる価値が認められるようになりました。

○NPO 法人と棚田保全

全国でNPO 法人となった、棚田保全組織は、大山千枚田（千葉県）、^{わらびの}蔵野棚田を守ろう会（佐賀県）、蔵野棚田保存会（佐賀県）、明日香の未来を創る会（奈良県）、せんがまち棚田倶楽部（静岡県）、十日町地域おこし実行委員会（新潟県）、恵那市坂折棚田保存会（岐阜県）の7組織です。

法人化することにより、社会的な信用が得られ、棚田保全活動を自分達の手で着実に進めることで、私達の祖先が汗と知恵で、長年に渡って築いて来た景観を守り、次世代に継承するという活動を展開しているところです。

○坂折棚田のこれから

平成24年度の坂折棚田の主要取り組みの収支バランス（平成25年度総会資料より）

主要取組みの収支バランス（万円）			
項目	収入	支出	バランス
会費収入	16		
補助金	326		
石積み塾	15	51	△36
棚田オーナー	173	157	16
カレンダー・年賀状	57	42	15
棚田米販売	211	144	67
農産物販売	125	59	66
文化伝承	17	19	△2

収入は、補助金頼りになっている。自主運営することが急務であります。その最も主要なのは、オーナー制の充実と拡大です。オーナー即ち棚田を理解し、応援に来られる人達の協力です。そのためには、体験研修施設の建設が望まれるところです。（現在計画され、建設に向けての作業が進められて

いる。)

○収益を上げる取り組み

- ・ 棚田オーナー制度・棚田米の販売・フォトコンテスト実施（カレンダー、年賀状販売）・野菜、山菜の販売に積極的に取り組むようにします。

○石積塾で棚田の保全と技術伝承

- ・ 石積みの美しい棚田を保全するため、石積塾生を募集
- ・ 体験による技術習得と石積みの修復を行う

○都市住民との交流による年中行事

- ・ 田の神祭り、灯火まつり、刈株祭り（収穫祭）実施により地域住民との交流を促進する。

平成26年度の年間行事予定が決まりました

	予 定 日	行 事 名	内 容
5月		里芋オーナー植付け	里親との交流
	5月中旬	中野方小学校の田植	父兄、鈴木、河合対応
		小学校5、6年生	
	5月24日（土） 25日（日）	オーナー田植作業	オーナーとの交流会
	5月下旬	恵那農高田植作業	棚田担当農業者と交流
		環境科1年生 40名	
	5月31日（土）	第5回 田の神まつり （灯火まつり）	ボランティアによる灯火坂折棚田の畦畔に灯をともし（1,000 灯）
7月	7月5日（土） 6日（日）	オーナー草取り、案山子作業	オーナーとの交流会 （案山子づくりを予定）
8月	8月2日（土）	ピオトブ観察会公民館との連携	小学生対象 水田の生物を調査
		棚田環境整備	会員による草刈り作業
9月	9月27日（土） 予備28日（日）	オーナー稲刈作業	オーナーとの交流会
	9月上旬	第7回フォトコンテスト審査会	
10月	10月19（日）	収穫祭（刈り株祭り）	オーナーとの交流会・棚田コンサート
	10月23（木） 24日（金）	全国棚田（千枚田）サミット	H26 年山形県上市市
	10月31（金） 11月1日（土）	第9回石積塾	石積みの技術伝承
27年 1月		第6回炭焼塾	炭焼技術伝承
2月			
3月		きのこオーナーによる植菌作業	オーナーとの交流会

日本最大級の環境展示会 エコプロダグッツ2013

エコプロダグッツ2013に参加 坂折棚田米、棚田せんべいを販売

エコプロダグッツとは、環境にやさしい産業をめざして、各種企業や大学、高校、やNGO、NPOなどが一堂に集まり、それぞれの活動を公開し、国民への理解を高めるという催しです。主催は産業環境管理協会、日本経済新聞社でした。会場は、(株)東京ビッグサイト

(東京都江東区有明) 東棟、とても広いところでした。それぞれの機関が、活動実績展示やPRにつとめていました。



東京ビッグサイト



会場風景

当保存会からは、「さかおり棚田米」の試食（おにぎり）と販売、棚田米小袋（300 g 入り）、さかおり棚田せんべいの販売、坂折棚田米仕込み純米吟醸酒（千古乃岩酒造）の杜氏自らの出展販売等、いづれも好評で完売しました。

なお、この参加経費は千古乃岩酒造と坂折棚田との連携事業の中で対応しています。



炭焼き塾で木炭の良さを知る

第5回炭焼き塾は、1月11日（土）に行われました。手順としては、前回焼いた木炭を窯から取りだして切断し、袋詰めを行い、ついで木炭の材料となる木（落葉樹で、ナラ、シデなど）を窯に詰め込みます。そして炭窯の焚き口に焚き木を積み火を点け、約1日ぐらい焚き続け、中の材料に燃え移るのを確認したら、焚き口を小さな穴（空気口）を残して土で封鎖する。数日間、中の木を燃焼し切ったら、空気口を封鎖し、中の木が冷えるのを待って木炭を出す。

この木炭の製造は、今日のように石油がなかった頃は、燃料の主流であった。現在、エネルギーの確保が種々検討される中であって、木炭も見直されるであろう。



お知らせ

○味噌作り体験教室

不動滝やさいの会が、町内で栽培された大豆を使用して「味噌作り体験教室」を開催します。

日 時：第1回目：平成26年3月 8日（土）

第2回目：平成26年3月15日（土）

両日とも午前10時から2時間ぐらい。各日10名

場 所：不動滝やさいの会 加工部（恵那市中野方町 TEL0573-23-2329）

参加費：3,000円（5kg）、5,000円（10kg）（お味噌は12月まで寝かせて順番にお渡しします。）持ち物：エプロン・三角巾

*詳細及び申込みは、中野方振興事務所 TEL0573-23-2111にご連絡下さい



○恵那市坂折棚田オーナー制度第9期募集！

昔の山里の姿を、今尚留める「坂折棚田」。先人の知恵と工夫により築きあげられた雄大な石積み棚田の中で農業体験を通じて棚田保全活動に参加しませんか！

【活動期間】平成26年5月～10月まで（作業は5月、7月9月、収穫祭10月）

【内 容】年3回3作業（田植え・草取り・稲刈り）及び収穫祭

【オーナー会費（年間）】1区画35,000円・3区画の場合100,000円

【特 典】収穫した坂折棚田米30kg・旬の農産物ギフト（1回/年 草取り時）

【募集区画数】100組（応募者多数の場合は選考させていただきます）

【面 積】1区画 約100㎡

【募集締切り】随時受付～平成26年3月31日（月）必着

編集後記

立春もすぎ、暦の上で春となりましたが、ここ坂折も厳しい寒さが続いています。それでも、平成25年度の主だった行事も滞りなく無事終えることが出来そうです。

平成26年度の行事計画も決まり、今号にのせることができました。多くの皆様が参加してくださることを楽しみにしています。

NPO法人恵那市坂折棚田保存会 電話：0573-23-2032 * FAX: 0573-23-2046 * 携帯: 080-1553-0315

E-mail: sakaori-tanada@ia1.itkeeper.ne.jp ホームページ：坂折棚田

検索